

よんでネット* 2025 夏号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



海のアトリエ

堀川 理万子

おばあちゃんの^え部屋にかざってある女の子の絵。
モデルは子どもころのおばあちゃん。だいじな人に
描いてもらった絵なんだって。

おばあちゃんは、自分を子どもあつかいしない^え絵描き
さんと 二人ですごした すてきな夏の 一週間の話を
してくれた。

偕成社【E・絵本のコーナー】

生まれかわる ヒロシマの折り鶴

佐藤 真澄

1945年8月6日、広島に^{けんし ばくだん}原子爆弾が投下^{ささききだこ}された。佐々木禎子
さんは2歳で被爆^{ひばく}したことが原因で、12歳の時に
亡くなった。禎子さんは病気が^{なを}治ることを願って、
千羽鶴を折り続けた。

「原爆の子の像」には、世界中から平和を願って
千羽鶴が届けられる。

そして今、折った人の願いは「折り鶴再生紙」として
生まれ変わる。



ちやうぶんしゃ
汐文社【31サ】



ひとつだけ守りたいもの

リンダ・スー・パーク作
ロバート・セーハン絵
佐藤淑子 訳

「^{もう}想像してください。家が火事です。なにかひとつだけ、
もちだせます。

家族やペットは無事だから安心してね。

いちばん大事なもので、なにかしら? …」

これ、チャン先生が出した宿題。

スマホ? 財布? 写真? ひとつだけなんて無理!

クラスみんなの発表が始まった。

玉川大学出版部【931パ】



サンドイッチクラブ

長江 優子

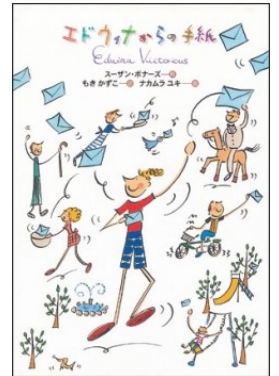
夏休み、小学6年生の珠子は、無心に砂の彫刻 = 砂像を作る羽村ヒカルと出会う。誘われて一緒に作るようになった珠子。羽村（ハム）と珠子（タマゴ）のサンドイッチクラブの結成だ。

すぐにこわれる砂像作りに意味はあるのかと疑問を感じ、岩波書店「913ナ」でいた珠子だったが、だんだん…。

エドウィナからの手紙

スーザン・ボナーズ作
もきかずこ訳 ナカムラユキ画

エドウィナは、おばさまの部屋で古い手紙の束を見つけた。それは、市長などえらい人にあてたもので、意見や要望が書かれていた。おばさまの若い頃の活動にエドウィナは興味をひかれた。ある日、公園で困っている親子を見かけたエドウィナは、おばさまの手紙を思い出し、市長たちに手紙を書き始める。



金の星社「933ボ」



カラスのいいぶん

人と生きることをえらんだ鳥

嶋田泰子 著
岡本 順 絵

頭の上にフンを落とされた嶋田さんは、カラスが大きらい。弱みをにぎってやろうと観察するうち、カラスの知恵に、できるやつだと感心するようになる。毎日やってくるカラスにクロスケと名前をつけ、さらに観察を続けると…。

童心社「48シ」

カラスのジョーシキ、てなんだ？

（おもしろ生き物研究）

柴田佳秀・文
マツダユカ・絵

ハシブトガラスのカーキチカバ。
君の知らないカラスの常識、教えます！
自由研究のセントものっているよ。



子どもの未来社
「48シ」